

冬どりと春どりを組み合わせたタマネギ6ha栽培で所得1,000万円が確保できる					
[要約] 冬どりタマネギ1haと春どりタマネギ5haを組み合わせたタマネギ経営(家族労力3名)の試算では、雇用労力が2,430時間必要であるが、冬どりの収量が4t/10a、春どり4.5t/10aの場合に所得が1,074万円となる。					
上場営農センター・研究部・畑作経営研究担当				連絡先	0955-82-1930 uwabaeinousenta@pref.saga.lg.jp
部会名	上場営農	専門	栽培	対象	タマネギ

[背景・ねらい]

新たに開発した夏播き冬どりタマネギ(以下冬どり)栽培は、高単価な時期に販売できることと、慣行の春どりタマネギ(以下春どり)で利用するセル成型トレイや全自動移植機を共用できることから経営上のメリットが大きい。

そこで、冬どりと春どりを組み合わせた場合の作業時間や作業体系および経営費等を試算し、タマネギ経営の規模拡大を図るための推進資料とする。

[成果の内容]

- 全自動移植機や乗用管理機等を利用する機械化体系による冬どりタマネギの延べ作業時間は、86.3時間/10aであり、慣行春どりタマネギと同程度である(表1)。
- 冬どり1.0haと春どり5haを組み合わせた大規模経営の延べ作業時間は、家族労力(3人)だけでは各収穫時期に不足し雇用労力がそれぞれ308時間、2,122時間必要になる。同様に、冬どり0.5haと春どり3haの中規模経営では、春どりの収穫時期に814時間の雇用労力が必要になる(データ省略、図1)。
- タマネギ大規模経営(6ha規模、冬どりの収量4t/10a、単価238円/kg、春どり4.5t/10a、100円/kg)の所得率は34%で所得は1,074万円、中規模経営(3.5ha規模)では609万円、34%と試算される(表1、図2)。
- 春どり5haの農家が、新たに冬どり1ha(単価238円/kg)を取り組むと、冬どりの収量水準が1t/10aの場合の冬どり分の1日当たりの所得は2,717円であるが、2t/10aで20,056円、3t/10aで37,394円、4tで54,733円になると試算される。また、春どり3haの農家も同様に、4,741円、22,100円、39,459円、56,817円となる(データ省略)。

[成果の活用面・留意点]

- 冬どりの全自動移植機による作業可能面積は、8月下旬の10日間で作業可能日数率(3mm以下の降水量の日数率)77%、実作業率80%で試算すると3.2haである。
- タマネギ経営の試算は、冬どりの後作に中晩生タマネギを作付けることを想定しており、冬どり以外の作付け作物の経費等は試算に含んでいない。
- 冬どりの栽培に関する留意点および詳細な経営試算については、当センターから発行した栽培マニュアル「初めての冬どりタマネギづくり(H27.2)」を参考にする。
- 1日当たりの所得は、延べ作業時間当たりの所得額に8時間を乗じた値である。

[具体的データ]

表1 冬どりと春どりタマネギの作業体系

作業名	作業機名	冬どりタマネギ				春どりタマネギ				
		作業期間	作業回数 (回)	作業人員 (人)	延べ 作業時間 (時間/10a)	作業期間	回数 (回)	作業人員 (人)	延べ 作業時間 (時間/10a)	
育苗	苗床準備	6/25～6/31	1	2	1.0	9/1～9/10	1	2	1.0	
	播種	7/1～7/10	1	3	0.7	9/10～9/30	1	3	0.7	
	灌水管理	7/5～8/25	1	1	8.3	9/14～12/20	1	1	8.3	
	薬剤散布	7/5～8/25	2	2	1.2	10/1～11/15	2	2	1.2	
本圃準備	耕起、堆肥散布、石灰散布、耕起	トラクタ、ロータリ、フロントローダー、ライムソフ	7/1～7/31	1	1	1.1	8/10～11/10	1	1	1.1
	施肥・畦立て・マルチ	トラクタ+施肥機+マルチャ	8/1～8/20	1	1	1.3	10/20～11/20	1	1	1.3
移植	植付	全自動移植機	8/20～8/30	1	1	1.9	11/1～12/25	1	1	1.9
一般管理	灌水	スプリンクラー	8/20～10/31	15	1	7.5	4/20～5/15	5	1	5.0
	薬剤散布	乗用管理機+ホームスプレアー	9/1～11/15	6	1	0.6	11/1～5/10	10	1	1.0
収穫	堀取り、収集	歩行型2条収穫機	11/25～12/28	1	2	51.2	3/15～5/31	1	2	51.2
	調整・出荷	人力、軽トラック	11/25～2/28	1	2	11.5	3/15～7/31	1	2	11.5
計					86.3					84.1

※春どりタマネギの品種構成は、極早生、早生、中晩生の同じ割合を想定し、作業時間等は場内試験データに基づく
 ※短日処理の開閉については自動化装置を想定

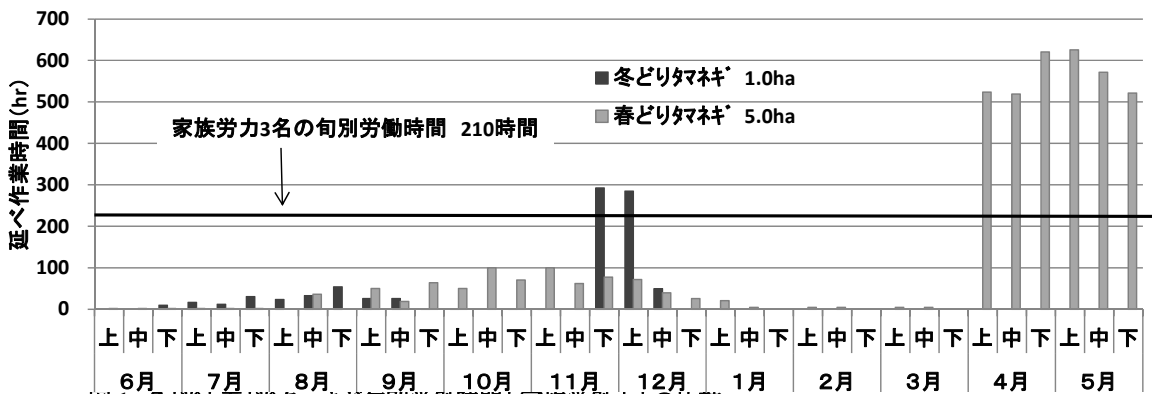


図1 冬どりと春どりタマネギ旬別労働時間と家族労働力との比較

※労働時間は、1日8時間、週休1日で試算

表2 冬どりタマネギと春どりタマネギ栽培時の所得

タマネギ耕地面積 項目	5ha			3ha		
	冬タマ	春タマ	計	冬タマ	春タマ	計
作付面積 (ha)	1.0	5.0	6.0	0.5	3.0	3.5
粗収益						
生産量 (kg)	40,000	225,000	265,000	20,000	135,000	155,000
単価 (円/kg)	238	100	121	238	100	115
粗収入 (円)	9,520,000	22,500,000	32,020,000	4,760,000	13,500,000	17,765,000
費用						
経営費	1,577,305	9,924,316	11,499,995	679,765	5,679,149	6,069,666
販売費	2,038,400	7,740,000	9,778,400	1,019,200	4,644,000	5,603,800
合計	3,615,705	17,664,316	21,278,395	1,698,965	10,323,149	11,673,466
所得 (円)	5,904,295	4,835,684	10,741,605	3,061,035	3,176,851	6,091,534
所得率 (%)	62	21	34	64	24	34
所要労働時間 (時間)	863	4,205	5,068	431	2,523	2,954
1日当たり所得 (円/日)	54,733	9,200	16,956	56,817	10,073	16,497
固定費 (円)	439,162	2,195,809	2,634,971	235,126	1,410,754	1,645,879
変動費 (円)	3,176,543	15,468,507	18,643,424	1,463,840	8,912,395	10,376,234

※タマネギ耕地面積は、上場地域の大型農家を想定

※収量は現地試験等により冬どりタマネギ 4t/10a、春どりタマネギ 4.5t/10a で試算

※単価は東京中央卸売市場、JAさがの実績により冬どりタマネギ 238 円/kg、春どりタマネギ 100 円/kg で試算

※家族労力 3名、雇用賃金 813 円/hr、労働時間 8hr/日、週休 1日

※経営費は、種苗費、肥料費、農薬費、光熱費、雇用労働費、その他諸材料費、償却費、大農具修繕費、大農具庫車費、資本金子

※販売費はJA開き取りにより、共同選果費 2.9 円/kg、出荷資材費 6.5 円/kg、運賃 13 円/kg、販売手数料 12%

[その他]

研究課題名：夏播き冬どりタマネギにおいて 5t どり 2 月までの出荷を可能にする栽培技術の確立

予算区分：県単

研究期間：2014 年～2017 年

研究担当者：石橋哲也、浦田貴子、大坪竜太